

# 中央大学学員会 中大技術士会支部

## ニュースレターvol.65

### 会員の皆様へ

9月に入りましても、厳しい残暑が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今年記録的な猛暑に加え、日々の生活やビジネス活動にもさまざまな影響が及んでおります。生成AIやデジタル技術の急速な進化、さらには物価高騰など、社会や経済の変化が一層加速していることを実感されている方も多いのではないのでしょうか。

そのような状況下、おかげさまで中大技術士会は、皆様のご理解とご協力のもと、活動を活発化しています。

今回より、幹事の山下三雄さんによるビジネス法務に関する寄稿を連載でお届けいたします。本寄稿は内容が充実しており、今後6回にわたって掲載いたします。監理者の立場にある方はもちろん、一般の社会人としても大いに役立つ知見が含まれております。継続的な研鑽の一助としていただければ幸いです。（最終ページにはURLとQRコードもご紹介しております。）

本ニュースレターでは、会員の皆様からの情報や投稿を随時募集しております。合格体験談も大歓迎です。ご自身の名前を広め、夢や目標の実現に向けて一步を踏み出すきっかけとしてぜひご活用ください。思わぬご縁が生まれることもございます。

それでは、ニュースレターをどうぞお楽しみください。

内 容	ページ
巻頭言	2 ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「毎年の猛暑と地球温暖化対策技術への期待」： 中大技術士会副会長 武安真児さん（情報工学・総合技術監理部門）</li> </ul>	2 ページ
活動報告	3 ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 部会報告</li> </ul>	3 ページ
活動計画	4 ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 活動計画全般</li> </ul>	4 ページ
リレーエッセイ	5 ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「直近の実践事項と大技連総会を中大で開催について」： 加藤行勝さん（経営工学部門）</li> </ul>	5 ページ
受験体験記	8 ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「合格」：小林 涼太さん（建設部門）</li> </ul>	8 ページ
新連載 法律の基礎シリーズ（第1回）	9 ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「法律の基礎シリーズ」推薦のことは：瀬川 徹さん（中央大学理事 弁護士）</li> </ul>	9 ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 法律の基礎シリーズを始めるにあたって： 山下 三雄さん（建設・総合技術監理部門）</li> </ul>	10 ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ お知らせ</li> </ul>	11 ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第6回理工ホームカミングデーのご案内</li> </ul>	11 ページ

■ 「毎年の猛暑と地球温暖化対策技術への期待」:

武安 真児さん（情報工学・総合技術監理部門）

中大技術士会会員の皆様、毎日暑い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。この原稿を書いているときはまだ8月で、毎日猛暑日が続いている状況ですが、このニュースレターが発行されている9月にも、予報では暑い日が続いているのではないかと思います。また、暑さだけではなく各地で大雨も発生していて、大雨による洪水や土砂災害による被害に遭われた方にはお見舞い申し上げます。



さて、私が投稿した過去3回の巻頭言を見ますと、2021年4月にはまさに新型コロナウイルスの禍中であり、2022年7月は新型コロナがまだまだ落ち着かない時で、2023年9月には新型コロナ禍はかなり落ち着いてきましたが、これまでの影響は大きく、世の中の活動も元には戻らない状況であり、3回連続で新型コロナの世の中や中大技術士会への影響について投稿してきました。

現在の状況を見てみますと、マスクをしている人も少なくなってきて、大きな影響がなくなってきているようにも見えますが、今年の夏もまた患者数が増えてきていて、今年は新しい変異株「ニンバス」が拡大してきています。8月になると患者が増えてくるのは毎年の傾向で、増加の規模は毎年小さくなってきてはいますが、まだまだ感染症への注意が必要なようです。

話を夏の暑さに戻しますと、猛暑日の日数が毎年増えてきていて、その影響が深刻になってきています。地球温暖化による影響が顕著な原因ですが、熱中症などの健康問題や生活面への影響だけでなく、農作物の生育不足で価格が高騰したり、さらにお米の生育の影響から、米不足の心配まで起きています。また、記録的な大雨とそれによる甚大な被害が増えてきていますが、これらも地球温暖化の影響と言われています。

地球温暖化について私が以前から注視している情報としては、気象庁が発表している

「日本の年平均気温偏差の経年変化」 [https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/temp/an\\_jpn.html](https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/temp/an_jpn.html) があります。

このグラフは、日本の毎年の平均気温が何度かということを表すのではなく、基準の年からの偏差を見るもので、毎年の気温の上がり下がりを見ることができます。このグラフを見ますと、1900年頃から2010年頃までの約110年間で平均すると約1.5度気温が上昇していますが、最近の約10年間では約1.5度気温が上昇していて、100年以上かかった気温上昇が数年の間で起きていることがわかります。特にここ3年間の気温の上昇は異常で、さらに今年の気温の値はまだ出ていませんが、昨年よりは上がるとの予想もあり、このまま気温が上昇する傾向が続くことを想像すると、とても恐ろしいことになりそうです。

地球温暖化への対応は、持続可能な開発目標（SDGs）のNo.13「気候変動に具体的な対策を」で「気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる」ことが定められています。

地球温暖化への大きな原因とされているのがCO<sub>2</sub>の増加で、CO<sub>2</sub>が増えていくことを止める必要があります。さらに現在の気候変動を見ると緊急な対応が必要ですが、まだまだ気候変動の速度にあった対策ができていないとは言えません。

技術者は、地球温暖化に対応するため、あらゆる対策を取っていくと同時に、現在あるCO<sub>2</sub>を減らすための技術的な対策を行うことが必要ですが、世界的に見ると政治的な問題もあり、できることが限られている中でも、さらなる努力を重ねていく必要があるように思います。

## 活動報告

### 大学支援部会活動報告

行事名	開催日程	活動概要
理工学部長往訪	2025年5月14日(水) 10:00~11:00	<b>1. 大学支援部会の取組みと考え方の説明</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術士第一次試験受験申込書配布</li> <li>・模擬試験の実施</li> <li>・技術士第一次試験合格者表彰</li> </ul> <b>2. 講師派遣</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「科学技術と倫理」(寺本剛教授) 理工学部・1年生前期</li> <li>・「キャリアデザインと倫理」(平川大貴教授) 都市環境学科3年生前期</li> </ul> <b>3. 大学技術士連絡協議会関係</b> <p>中大技術士会20周年を経て、積極的な交流を展開、基調講演等先生方に対する協力依頼</p>
技術士第一次試験受験申込書配布	2025年6月11日(水)、 12日(木)、13日(金)、 16日(月)	9つの授業枠で受験申込書(冊子)計1,001部を配布しました。
理工学部への講師派遣	2025年 6月3日(火)、10日(火)、 7月2日(水)、9日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「科学技術と倫理」(寺本剛教授) 理工学部1年生前期</li> </ul> 第7回6月3日 大畠幹事、 第8回6月10日 加藤幹事が対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「キャリアデザインと倫理」(平川大貴教授) 都市環境学科3年生前期</li> </ul> 第12回7月2日 黒澤部会長、 第13回7月9日 澤田幹事が対応

## ■ 広報部会活動報告

項目	内容
サーバー運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規入会者の登録などメーリングリストのメンテナンス</li> <li>http から https に移行作業実施 http から https へのリダイレクトを設定</li> </ul>
ニュースレターの発行	ニュースレターvol.65 の作成、発行
HP新規掲載	・ニュースレターvol.65 の掲載
その他	特になし
会員の皆様へのお願い	<p>① 就職、転勤、転職、転居等により連絡先が変更になった場合、幹事会宛てにご一報をお願いします。詳細はホームページ「入会のご案内」をご参照ください。連絡先：toiawase@chuo-u-pej.org</p> <p>② ニュースレターへの会員の皆様らの投稿をお待ちしています。近況報告、受験体験談など、何でも構いません。皆さんからの積極的な応募をお待ちします。</p> <p>③ 会員相互の交流を深めることを目的に比較的気楽に投稿できる「<u>趣味</u>」や「<u>近況報告</u>」を共通テーマとしたリレーエッセイを(Vol.36)より開始しました。執筆依頼がありましたら、躊躇せずに投稿をお願いします。</p> <p>また、リレーエッセイの投稿をご希望の方は遠慮無く、toiawase@chuo-u-pej.org まで、お問い合わせください。意外な繋がりが生まれるかも知れません。</p>

## 活動計画

### ■ 企画部会活動計画

行事	日程	内容
ホームカミングデー	10月26日(日) 多摩キャンパス	「企業」や「現場」での技術的トラブル等の相談会」として出展する予定
理工白門祭	11月1日(土)～2日(日) 後楽園キャンパス	「昔の計算機展示」として出展する予定
中大技術士会 R7 第1回講演会 (定時総会時の特別講演会として開催)	未定	

### ■ 大学支援部会活動計画

行事名	開催日程	活動概要
技術士第一次試験模擬試験	2025年10月11日(土) 12:50～17:30	後楽園キャンパス5533教室において模擬試験と試験の解説を実施します。
技術士第一次試験合格者祝賀会	2026年3月(詳細未定)	令和7年度技術士第一次試験合格者を対象に、記念講演と学部長表彰を予定しています。

## 「リレーエッセイ

### ■ 「直近の実践事項と大技連総会を中大で開催について」：加藤行勝さん（経営工学部門）

前回のリレーエッセイ(vol39:2018年)では、「無趣味ながらも継続的に行ってきたこととして、以下について述べた。

- ① 野球ファン：三原監督の影響で、近鉄ファン（現オリックス）
- ② 水泳：35歳から30年以上継続
- ③ 日科技連BCで成長：このコースで鍛えられ、育てられ、技術士取得のきっかけを作ってくれた。

今回は直近で実践している2つのことと、大学技術士会連絡協議会（以下、大技連という）担当の幹事（鈴木、佐藤、加藤）の1人として、来年、第17回大技連総会を初めて中大で開催することについて述べる。



#### 1. 農園での野菜作り

3年前の3月より自宅から自転車で4分ぐらいの距離にある「全国農業体験農園協会」の会員農場である農園の117区画の中の1区画を借りて二十数種類の野菜作りを始めました。

この会員農場の場合、農機具、肥料等必要なものは農場で準備してくれ、毎回園主による講習会があります。このため、全く野菜作りの経験がない人でも何とか野菜作りができます。幸い、10年以上の経験者が近くの区画にいて親切に教えてくれるのでずいぶん助けられています。

3年目の今でも作業は大変で、作業時間も一番遅い状態です。昨今の猛暑で、ベッド・トンネル・定植・支柱作り作業、収穫作業は大変で、熱中症との闘いでもあります。

しかしながら、野菜の成長は楽しみであり、成長のバラツキ、隣の区画との成長の差の原因をいろいろ考えながら悪戦苦闘しています。野菜作りの奥は深く、何年経ったら1人前になれるのか考えながらこれからも続けていきたい（やめられない）と考えています。



#### 2. 筋トレ

水泳を30年以上継続してきたが、5年位前から回数が少なくなり、新型コロナの影響でますます少なくなっていました。そんな中で、去年の8月から始めたのが区立体育館での筋トレです。筋トレについては、20年ほど前にやり始めたのですが、数か月で挫折してしまいました。

きっかけは鉄棒にぶら下がって自分の体重を持ち上げようとしたとき、全く持ち上げられなかったことでした。上半身を何も使っていないとこのようになるのかと愕然とし、1回でもいいから持ち上げられるようになりたいと思い、筋トレを始めました。

区立の体育館のトレーニング室には約20種類の器械があり、料金は2時間で100円という格安であることも魅力です。2時間で全種類の器械を使うことは不可能で、休みを取りながらやるので、十数種類の器械をこなすとすぐに2時間がきてしまいます。

やり始めて7カ月経過しましたが、徐々に荷重（負荷）が増えてきており、例えば、レッグプレスはやり始めから30kgも増えました。10回の繰り返いを3セット行うことが基本で、それができるようになったら2~3kg上の荷重に増やしていくようにしていきます。

足2本使うレッグプレスは105kgまでできるが、腕2本を使うオーバーヘッドプレスではまだ30kgが限界で、足と腕ではこんなに違うのかと驚いています。これまでの思わぬ効果として、以下があります。

- ① 太股が大きく（太く）なった
- ② 腕立て伏せが連続して50回出来るようになった
- ③ ウエストが細くなってきた

十数種類の器械の筋トレを継続してやっているといろいろな筋肉が自然と鍛えられ、このような効果が出てくるのではないかと推測しています。

肝心の自分の体重を持ち上げる方はようやく半分ぐらいしか持ち上げられることができず、まだ目標を達成できていません。あきらめずにこれからも継続していきます。



### 3. 大技連総会を初めて中大で開催

大技連については知らない方もおられると思いますが、ニュースレターVol.61(中大技術士会創立20周年記念号) p.1-6に「大技連の沿革と展望（記：大技連事務局安部様）」、中大技術士会の大技連での活動については、同 p.3-14「大学技術士会連絡協議会活動報告（記：中大技術士会大技連担当幹事佐藤様）」、中大技術士会の歴史については、同 p.2-1「中大技術士会の歴史（記：名誉顧問金川様）」に詳しいので、中大技術士会のHPより参照していただければ幸いです。

中大技術士会は、2006年10月の大技連設立準備から関わってきた歴史ある実績を有している。2008年7月に大技連が設立され、同年11月に中大を含めて13校で第1回大技連総会が日本技術士会の会議室で開催された。現在、全国で大技連への参加校は36校まで拡大しています。

大技連設立の目的は以下の通りである。

- ①活動情報の交換
- ②会員募集目的の共同情報収集活動
- ③合同講演会の開催などの懇親活動

2017年1月に大技連運営規則が承認され、中大を含めた10校を初代幹事校として幹事会が組織され、2021年1月まで幹事校を務めた（事務局は中大と早大）。

中大技術士会は2010年度から多数の技術士を生み出すことで中大の評価を上げることを目的として「技術士ガイダンス」を、2011年度から1次試験受験申込書配布・1次試験説明会を、2013年度から受験者を対象に模擬試験を実施するなどの活動を実施し、現在も継続している。これにより在学性の1次試験合格者は2014年から3年間連続首位を獲得し、直近の2022年~2024年の3年間は連続2位を保っています。

このような技術士ガイダンス、模擬試験等による1次試験・2次試験合格のための支援・援助体制の実施により、高い1次試験合格者数を維持していることについて他校から中大方式（ブランド）とネーミングされ、各校から照会・問い合わせがあり、2017年度の総会で「学生受験者増

大対策の事例報告」として発表しています。本校の支援体制を参考にして、他校は学校ぐるみで試行錯誤を繰り返し、切磋琢磨しているのが現状です。

今後は中大方式（ブランド）を維持・向上を図っていくとともに、大技連事務局との連携を一層緊密にし、公益社団法人日本技術士会（以下、日本技術士会）→大技連→中大技術士会への一次情報の収集の強化に努めていきます。

技術士は日本技術士会の会員として登録しますが、日本技術士会は、会員技術士および本会の「社会的貢献的事業の企画・実施・支援」を行い、「技術士」及び「日本技術士会」の活動の場を広げています。

大技連は日本技術士会と連携を取りながら、いろいろな社会的貢献活動を実践しています。具体的に実践している活動の一部を下記に紹介します。

- ① 司法支援活動
- ② 工事監査支援活動
- ③ 防災支援活動
- ④ 科学技術支援活動
- ⑤ 国土交通省 新技術活用評価会議への支援活動

この度、第 17 回大技連総会を来年 1 月 24 日（土）に中大後楽園キャンパスで開催することになりました。概要は以下の通りです。

開催日時：2026 年 1 月 24 日（土） 14：00～19:00

開催場所：5 号館 3 階（活動報告および特別講演）、新 1 号館 5 階ラウンジ（懇親会）

14:00～15:15 大技連・日本技術士会活動報告等

15:30～16:30 特別講演 演題 「人工血液の開発最前線」

演者 中央大学工学部応用化学科 小松晃之教授

17:00～19:00 懇親会

中大技術士会の会員の皆さんには多数参加してくれることを期待します。よろしくお願い申し上げます。

## 受験体験記

「合格」：小林 涼太さん（理工学部 都市環境学科 4年 建設部門）

私は大学で土木系の分野を専攻しており、授業や研究を通して建設に関する幅広い知識を学んできました。その中で、将来は技術士（建設部門）を取得して専門性を高めたいという目標ができました。一次試験はその第一歩であり、学部生のうちに合格できれば就職活動や将来のキャリア形成にもプラスになると考え、思い切って受験を決意しました。



学習期間はおよそ3か月。試験勉強を始めたのは夏休みの少し前からで、長期休暇の時間を有効活用できたのが良かったと思います。平日は授業や課題があるため、空きコマや放課後に1時間程度を勉強時間にあてました。休日は午前中にカフェで2~3時間集中して取り組み、午後は軽めの復習にするなど、オンとオフのメリハリを意識しました。

使用した教材は、直近10年分の過去問集、インターネット上の無料問題集サイトです。特に過去問は最も重要な教材と位置づけ、「解く→間違えた問題をノートにまとめる→数日後に解き直す」という流れを徹底しました。ノートには解答だけでなく、自分が間違えた理由や勘違いポイントも書き込み、同じミスを繰り返さないようにしました。

学習方法で工夫したのは、まず自分の得意・不得意分野を早い段階で把握することです。建設部門では土木工学や構造力学の問題が多く、自分にとっては授業内容と重なる部分が多かったため、そこを先に固めて自信をつけました。一方、環境や法規といった分野は苦手意識があったため、毎日少しずつ触れるようにして知識を積み重ねました。暗記科目も、ただ覚えるのではなく「なぜそうなるのか」を理解してから暗記するように心がけ、公式や定義は図やイメージと結びつけて覚えました。本番形式の練習も重要だと感じました。試験時間は長丁場なので、家で時間を計って模擬試験を2回実施しました。最初の模擬試験では時間配分を誤って最後が駆け足になってしまい、その反省を活かして2回目は各問題にかける時間をあらかじめ決めて取り組みました。この訓練のおかげで、本番では焦らずに全問解ききることができました。

試験当日は、午前中の専門科目は想定通りの難易度で順調に進みました。午後の専門科目はやや難しく感じましたが、過去問で見覚えのあるパターンが多く、落ち着いて対処できました。見直しの時間も確保でき、計算やマークミスを修正できたことが合格につながったと思います。

合格のポイントは大きく3つあります。1つ目は、早めに過去問に取り組み出題傾向に慣れたこと。2つ目は、理解を優先してから暗記に移ったことで応用問題にも対応できたこと。3つ目は、試験直前まで体調管理を徹底したことです。特に直前1週間は睡眠時間を削らず、食事バランス良く摂るよう心がけました。

大学生活と並行して勉強する中では、「勉強時間をどう確保するか」が最大の課題でした。そこで、スマホの予定表に「過去問演習」や「復習30分」などの予定をあらかじめ書き込み、強制的に時間を作るようにしました。また、友人に受験を宣言しておくことで、自分へのプレッシャーにもなり、最後までモチベーションを維持できました。

これから受験する方へ。一次試験は広く浅くの知識が求められます。完璧を目指すよりも、合格に必要な5割の正答を安定して取れるようにすることが大切です。短期間でも計画的に進めれば十分に合格可能ですし、学生のうちに合格しておくことで就活や今後のキャリアに大きな武器になります。最初は難しそうに見える科目も、繰り返し触れば必ず慣れます。焦らず、そして着実に、一歩ずつ積み上げてください。

■ 「法律の基礎シリーズ」推薦のことは：瀬川 徹さん（中央大学理事 弁護士）

中央大学学員会中大技術士会支部におかれては、平素から中央大学ならびに同理工学部の発展に尽力されておられますこと、心から感謝申し上げます。

中央大学は、「中長期事業計画 Chuo Vision 2025（世界に存在感のある大学を目指して）」を策定し、この10年間に亘り、多摩キャンパスではグローバル戦略に基づき国際経営学部を開設し施設整備を行い、更に、令和9年にはスポーツ情報学部、情報農学部を開設する予定です。

又、都心キャンパスでは、市谷田町に国際情報学部を開設し、法学部を茗荷谷に移転し、駿河台キャンパスを改築して専門職大学院（ロースクール、ビジネススクール）を移転し、後樂園にある理工学部キャンパスの改修整備等を行っています。更には、令和8年4月より、理工学部（10学科）を3学部（基幹理工学部、社会理工学部、先進理工学部）に再編する予定です。

こうした事業展開のねらいは、多摩キャンパスにおいては勿論のこと、都心キャンパスにおいても、理工学部と文科系学部である法学部、国際情報学部、専門職大学院が連携することにより「文理融合型の教育・研究」の一層の深化が期待できます。

「文理融合型の教育・研究」では、各学部の専門的知識や技術だけでなく、多岐にわたる分野の知識・技術、ノウハウの習得、及び、社会的・職業的倫理の探求が求められます。

貴支部におかれては、既に、山下三雄会員による、貴支部のニュースレターにおいて「マネジメントの基礎」シリーズを行い、この度、「法律の基礎」シリーズを連載されるとお聞きしました。こうした活動は、大学が目指す「文理融合型の教育・研究」と方向を同じくするものであり高い評価が得られるものと期待しております。

中大技術士会におかれては、今後とも中央大学及び理工学部の発展のために積極的に活動されることを祈念して「法律の基礎」シリーズの推薦の言葉とさせていただきます。



## ■ 法律の基礎シリーズを始めるにあたって：山下 三雄さん（建設・総合技術監理部門）

今号から「マネジメントの基礎」シリーズの掲載を終えて、新たに第2部として「法律の基礎」シリーズを以下の通り6回にわたって始めます。第1回「民法総則編」、第2回「民法物権編、債権編1」、第3回「民法債権編2」、第4回「民法、親族・相続編」、第5回「商法・会社法1」、第6回「会社法2、知的財産法その他※」また、そのなかで補論として以前私が書いた「税法（不動産税制を中心として）」さらに「相続が争族とならないために」をご紹介しますと思います。※「その他」は労働法・消費者法・個人情報法を考えています。



民法は2017年（平成29年）に実に約120年ぶりに大改正が公布されました。私も主として不動産鑑定士試験受験（3回受験しましたがいずれも不合格でした）のために何回か勉強しました。また早稲田セミナーの不動産鑑定士の受験講座を受講し、校内の全国模擬試験において民法の科目について1回だけ約300人中なんと全国2位の成績をおさめ社内報に載った経験があります。

（私のいつもの自慢話ではありますが）その後は1回たりとも他の科目（経済学・会計学・不動産鑑定理論）も含めて上位の成績をおさめたことは全くありませんでした。従って今回の掲載に当たって改めて改正民法を勉強する機会が得られたのは私にとっても意義のあることでした。その後も成人に達するのが選挙権も含めて18歳に改定されています。民法の基本原則として、個人平等・所有権絶対・私的自治（契約自由）・過失責任の各原則があります。まさにこれらの原則により私有財産制を基本とする近代資本主義社会が成立し発展してきました。

商法・会社法及び知的財産法に至ってはほとんど勉強したことがなく、今回初めてチャレンジいたしますので、どこまでわかったふりができるのか？はなはだ不安ではありますが、会員各位の皆様のご参考になればと思いますので、お付き合いいただきたくお願い申し上げます。なお、本シリーズについては準会員の小峯弁護士のご協力をいただきましたことを深く感謝いたします。また、文責はすべて山下にありますことをお断りしておきます。

法律の基礎シリーズ 第1回:「民法総則編」

[https://www.chuo-u-pej.org/katudou/newsletter/document/document\\_10.pdf](https://www.chuo-u-pej.org/katudou/newsletter/document/document_10.pdf)

参考図書：伊藤真試験対策講座シリーズ「スタートアップ民法・民法総則、物権、債権、親族、相続」 伊藤真著 弘文堂発行



## お知らせ

### ■ 第6回理工ホームカミングデーのご案内

第6回理工ホームカミングデーは下記にて行われますので、ご案内します。  
詳細は、下記大学のホームページをご覧ください。

<https://www.chuo-u.ac.jp/academics/faculties/science/event/2025/08/81886/>



\*\*\*\*\*

### 第6回理工ホームカミングデー

日 時：2025年10月25日(土) 13:30-17:00 (その後、新1号館にて懇親会)

会 場：後楽園キャンパス 5号館5階5534号室、新1号館

テーマ：中大理工学部の140年と未来

概要：理工学部・白門たくみ会では、後楽園キャンパスをホームとする学員の皆様を対象に、2018年より理工ホームカミングデーを開催しています。本年は、下記の通り開催することになりました。新1号館が竣工し、旧1号館周辺の解体工事の槌音が未来への扉を叩くように響いています。記念講演会では、新1号館を竣工された奥村組の奥村太加典社長に講演頂きます。

来年には理工系新3学部がスタートします。この記念すべき時代の転換点を、是非、理工学部学員、更には他学部の方々と共有したく存じます。

皆様のご来場を心よりお待ちしております！

#### ■第1部 (13:30~14:50)

- ・校歌斉唱
- ・主催者挨拶 中央大学理工学部長 梅田 和昇
- ・来賓祝辞 学員会副会長 植野 妙実子氏 (法学部1981年卒業、理工学部名誉教授)
- ・記念講演会 株式会社 奥村組 代表取締役社長 奥村 太加典氏 (土木工学科1986年卒業)

テーマ：『奥村組の広報』

#### ■第2部 (15:00~16:15)

- ・親子二代理工学部卒業等 表彰
  - ・『中央大学理工学部の歴史~設立構想から現在まで~』
- 中央大学副学長・都市環境学科教授 榎山 和男
- ・『中大理工の未来~3学部体制で大胆かつ迅速な改革を~』

中央大学理工学部長 梅田 和昇

- ・惜別の歌 合唱
- ・新学部長紹介・ご挨拶

#### ■第3部 (16:30~17:00)

- ・新1号館 見学

#### ■懇親会 (17:00~19:00)

- ・新1号館 5階ラウンジにて会費制で開催します (会費4,000円を予定)
  - ・「私の思い出」コーナーにて思い出の品々、写真、エピソードをご紹介いただく予定です
- 懇親会に参加される方は、右のQRコードまたは大学のホームページからお申し込みください。



ニュースレターへのご意見、ご感想をお待ちしています。 ⇒ [toiawase@chuo-u-pej.org](mailto:toiawase@chuo-u-pej.org)

2025年9月号 中大技術士会 広報部会 発行

中大技術士会ホームページ： <http://www.chuo-u-pej.org/>